取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	認知機能の改善に関する取り組み

現状と課題

本市における平成 24 年 10 月 1 日時点の人口と平成 30 年 10 月 1 日時点の人口を比べると、0 歳から 15 歳まで及び 16 歳から 39 歳までの人口は減少しており、40 歳から 64 歳まで、65 歳から 74 歳まで及び 75 歳以上の人口は増加している。特に、75 歳以上の後期高齢者の人口が顕著に伸びている。
今後もこの傾向は続くと思われ、後期高齢者の人口の増加に伴い、認知機能の低下のおそれのある人も増加すると思われるため、認知機能を改善させるための事業が必要になる。

第７期における具体的な取組

市内の社会福祉法人との協働事業として、認知症の進行を抑制する効果が期待されている回想法事業を８回１クールとして、年間２クールを実施する。

目標（事業内容、指標等）

	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
開催回数	16 回	16 回	16 回
参加人数	16 人	16 人	16 人

各クールの初回と最終回に認知症のスクリーニング検査（Me－ＣＤＴ）を実施し、参加者の認知機能の改善を目標とする。

目標の評価方法

- **時点**
  ☑中間見直しあり
  ☐実績評価のみ
- **評価の方法**
  ・開催回数及び参加者を計上。
  ・各クールごとの認知機能の改善した人数を計上。